



豊島区長 高際 みゆき

ひきこもりは、全く他人事ではありません。

以前は学校などのいじめが原因で、
子どもがひきこもってしまう事例が主に取り上げられていました。

しかし、現在は、どこで、なにがきっかけで
「外に出られない」「生きにくい」状況になるか、理由も年代もそれぞれです。
いつでも、だれにでも起こり得る問題となっています。

医療、介護、教育、就労、ハラスメントや虐待の問題など
ご本人やご家族を取り巻く様々な課題を、
横串を通して複合的に考え、その方に寄り添い、押し付けず対応する。

まさに福祉の根幹が問われていると考えています。

以前75歳以上の方全員へ往復はがきをお送りし、
お困り事がないかお伺いしたところ、沢山の声をお返しいただき、
「メッセージを届けたい相手に、しっかり届けること」の
大切さを実感しました。

ひきこもりについても同様です。

ご自身が、ご家族が、近所にお住まいの方が家にひきこもり、
悩みを抱えているとき、いかに区からの呼びかけに気づいていただけるか。
庁内外の関係者と連携し、どれだけ支援におつなぎできるか。

区として、これからが本番です。

令和2年にSDGs未来都市に選定され、
「誰ひとり取り残さないまち」をめざす本区としては、
ひきこもり支援を通じ、区の底力が試されていると思っています。

誰かに話をするだけでも心が軽くなりますので、
区の「ひきこもり相談窓口」をはじめとした相談先に、
どんなことでもお気軽にご相談ください。

豊島区では、今後も、関係部署総力を挙げて
当事者やご家族の皆様へ寄り添った支援を行ってまいります。